



本町ほのぼのだより 第18号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 Tel 03-3373-1666

発行年月日：平成26年4月26日 第18号

第18回 本町図書館 個性づくりテーマ展示

るんるん、建築散歩♪

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画、音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第18回目となる今回は、「るんるん、建築散歩♪」と題して、東京・横浜の建築と庭園をご紹介します。実際に鑑賞することで、建築・庭園の魅力を多くの方に実感していただけたらと思います。

そもそも建築って何？

広辞苑第6版によると、建築という言葉は江戸末期に造られた訳語で、意味は「家屋・ビルなどの建造物を造ること」とあります。また建築は空間芸術の一つであり、技術だけでなく、デザインなど芸術性も考慮する必要があります。



日本の建築の流れ

人間は時代や地域によって、さまざまな建造物を造りました。

日本では、飛鳥・奈良時代に中国や朝鮮半島の影響を受けた建造物が造られました。平安時代以降、日本独自の建築様式が发展します。寝殿造や書院造などです。戦国時代には、城が各地でさかんに造られ、安土・桃山時代になると天守閣のあるものが造られます。そして明治時代には、外国人居留地で異人館が造られ、居留地以外でも西洋の文化を意識した西洋館や博物館などが造られました。

展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成26年4月26日（土）～ 6月26日（木）

※ 展示資料は貸出もできます。

参考文献：『広辞苑』第6版 新村出編 岩波書店 813.1 本町図書館所蔵

東京の城

江戸城



江戸城は長禄元（1457）年、太田道灌^{おおたどうかん}によって築城されました。江戸時代には代々将軍がこの城で天下を治め、現在は皇居として利用されています。別名「千代田城」とも言われます。世界屈指の広さを持つ城であり、城内面積は約 230 ヘクタールになります。

城門が多いのが特徴で、123 棟という数は日本一です。現存している建造物も多く、代表的な物では 3 棟の城門（田安門、清水門、外桜田門）、3 棟の櫓（巽櫓、伏見櫓、富士見櫓）、3 棟の番所（同心番所、百人番所、大番所）が挙げられます。

また石垣も見所の一つです。石垣の模様がまるでモザイクのようになっているのは、それぞれ産地の異なる石を使っているためです。全国から届けられた石は、あえて一か所に同じものを使うのではなく、モザイク模様になるよう意図的に組み合わせられたようです。よく見ると石の表面には「化粧」が施されており、ノミで細かく点々と削られている「はつり」や、直線を刻む「すだれ」、またはその二つを組み合わせた化粧が施されています。

過去に何度も火災に悩まされており、日本一の巨大な天守も明暦 3（1657）年の火災で失われました。再建計画はあったようですが「太平の世には不要」ということから再建はされなかったようです。

（写真提供：環境省 皇居外苑管理事務所）

皇居外苑へのアクセス：東海道線「東京」駅より徒歩 10 分

八王子城



八王子城は天正 13（1584）年頃に北条氏照によって築城された城です。現在は城跡を残すのみとなっています。戦国の山城の状態をよく残しているため、「日本 100 名城」に選定されています。また、関東でも屈指の広さを持つ山城であり、約 159 ヘクタールの面積があります。

織田信長の安土城の影響からか、氏照には壮大な城郭を作ろうという構想があったようです。

城は大まかに本丸がある山頂の「要害地区」、城主氏照が住んだ「御主殿跡」がある「居館地区」、城下町などが

あった「根小屋地区」に分かれています。築城された当時は城が山城から平山城、平城へと移り変わっていく時期であり、山城である八王子城は時代に逆行する城でした。しかし、後に近世城郭の特徴となる石垣を取り入れるなど、古い山城では見られない近代的な特徴を持っています。（写真転載元：国立国会図書館ホームページ）

アクセス：中央線「高尾」駅北口 1 番バス停より、西東京バス「高尾の森わくわくビレッジ」「宝生寺団地」「恩方車庫」「大久保」「陣馬高原下」「グリーンタウン高尾」「美山町」行きで、バス停「霊園前」より徒歩約 15 分。

東京の庭園

小石川後楽園



江戸の大名屋敷では、多くの庭園が造られました。小石川後楽園は、水戸藩の初代藩主徳川頼房が上屋敷に造園したものです。その後、二代藩主光圀により、中国の影響が見られる庭園になりました。この庭園は多くの大名庭園と同じく、回遊式庭園です。回遊式庭園とは、大きな池の周辺にさまざまな景色が配され、それを楽しむために園路が設けられた庭園のことです。特に、後楽園は京都や中国の名所を模した景色や梅林、藤棚などの見所がたくさんあります。残念なことに当時の建物はほとんど残っていませんが、丸屋や九八屋など復元された建物や戦災を逃れた得仁堂から、江戸時代の大名庭園をイメージすることができます。隣の写真は「通天橋」といい、京都・東福寺の通天橋をモチーフに作ら

れたものです。(写真提供：東京都公園協会 小石川後楽園)

アクセス：都営地下鉄大江戸線「飯田橋」駅より徒歩 3 分

休館日：年末年始(12/29～1/1)

旧古河庭園

明治に入ると政府高官や財閥の当主たちが、和洋折衷の庭園を造園しました。旧古河庭園は、もとは明治の外相・陸奥宗光の邸宅でした。その後、古河虎之助の所有になると、現在の洋館が建築されました。洋館の設計者は、日本近代建築の父と呼ばれるジョサイア・コンドルです。彼は洋館のみならず、洋風庭園の設計も手掛けたと言われています。さらに京都の庭師である小川治兵衛が、回遊式の日本庭園を造園しました。東京で小川治兵衛の庭園が見られるのは、ここだけです。



大正初期を代表する旧古河庭園は、バラの庭園として有名です。洋館内の見学は、事前の申し込みが必要です。(写真提供：東京都公園協会 旧古河庭園)

アクセス：京浜東北線「上中里」駅より徒歩 7 分

休館日：年末年始(12/29～1/1)

- 参考文献 『わくわく城めぐり』 萩原さちこ著 山と溪谷社 521.8ハ 本町図書館所蔵
『ぶらり！東京近郊の名城・古城』 西ヶ谷恭弘著 PHP 研究所 521.8ニ 野方図書館所蔵
『日本の城 1000 城』 大野信長他著 西東社 521.8ニ 野方図書館所蔵
『江戸東京の庭園散歩』 田中昭三著 JTB パブリッシング 629.2タ 本町図書館所蔵
『歴史と文化を愉しむ東京庭園ガイド』 東京名園鑑賞会著 メイツ出版 629.2ト 江古田図書館所蔵

東京・横浜の洋館

三鷹市山本有三記念館(旧山本有三邸) 1 階一部鉄筋 2 階木造の混構造

もとは、実業家・清田龍之助が建てたもので売りに出ていたこの洋館を山本有三が一目で気に入り、昭和 11 (1936) 年から 10 年間、家族と暮らしました。複雑な屋根の形や 3 本の煙突・面により表情が変わる特徴のある外観を持ち、館内ではデザインの異なる暖炉や、名作「路傍の石」を生んだ書斎などが見学できます。(写真提供：三鷹市山本有三記念館)

アクセス：中央線「三鷹」駅南口より徒歩 12 分

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し翌日と翌々日が休館）、年末年始（12 月 29 日～1 月 4 日）

ウェブサイト：<http://mitaka.jp/org/yuzo/>（三鷹市山本有三記念館）



豊島区立雑司が谷旧宣教師館 木造 2 階建て



アメリカ人宣教師のジョン・ムーディ・マッケレーブが明治 40 (1907) 年に住宅兼布教活動の拠点として建てました。外観に見所が多く、上げ下げ窓の棧や軒先、方杖のデザインに特徴があります。1 階と 2 階には板の裾を広げて雨をはじき、土台を湿気から守る工夫がされています。室内は 2 階天井の格子に竹を用いており、洋館ではあまり見られない特徴があります。暖炉にアール・ヌーヴォー調のタイルが貼られ、簡素ですが暖かみがあり、19 世紀末のアメリカ建築の様式を伝える貴重な建物です。(写真提供：豊島区立雑司が谷旧宣教師館)

アクセス：地下鉄副都心線「雑司が谷」駅より徒歩 10 分

休館日：毎週月曜日、第 3 日曜日、祝日の翌日、年末年始、臨時休館

ウェブサイト：<http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/shiryokan/>（豊島区立郷土資料館）

ブラフ 18 番館 木造 2 階建て

関東大震災後に山手 45 番地に建てられた外国人住宅で、現在は山手イタリア山庭園内に移築復元されています。赤茶色のフランス瓦の屋根、白い壁に、緑色の鎧戸とのコントラストが美しく、各面に設けられたベイ・ウィンドウやバルコニーなどが変化に富み、愛らしい外観です。室内には、当時元町で発達した横浜家具も復元展示されており、当時の暮らしぶりを垣間見ることができます。(写真提供：(公財)横浜市緑の協会)

アクセス：京浜東北・根岸線「石川町」駅より徒歩 5 分

休館日：第 2 水曜日（祝日は開館し翌日が休館）年末年始(12/29～1/3)



※外交官の家（旧内田定槌邸）^{うちださだつち} 木造 2 階建て

外交官・内田定槌が昭和 17（1942）年まで暮らした渋谷の自邸を平成 9（1997）年にブラフ 18 番館と同じ庭園内に移築復元しました。（写真提供：（公財）横浜市緑の協会）

アクセス：京浜東北・根岸線「石川町」駅より徒歩 5 分

休館日：第 4 水曜日（祝日は開館し翌日が休館）年末年始（12/29～1/3）



東京の文化芸術に関わる建物

東京国立博物館

敷地に入ると、向かって左が表慶館、その先に法隆寺宝物館、正面が本館、右に東洋館、本館奥に平成館が建てられています。それぞれ設計した人物や建設時期が異なります。

表慶館の設計は片山東熊氏です。ネオ・バロック様式の外観をしており、昭和 53（1978）年には重要文化財に指定されました。法隆寺宝物館は谷口吉生氏の設計です。当初、資料の保存を第一にして建てられましたが、老朽化してきたことと、公開日を増やしてほしいという要望により建て替えられました。本館は渡辺仁氏の設計です。コンクリートの躯体に瓦屋根を載せた『帝冠様式』の代表例になる建物で、平成 13（2001）年に重要文化財に指定されました。以前は英国人建築家のコンドル氏が設計した旧本館がありましたが、関東大震災により大きく破損しました。その後、昭和天皇即位を機に「皇室博物館復興賛会」が組織され、国民から寄付を募り再建することができました。東洋館は谷口吉郎氏の設計です。日本建築の伝統的な要素がコンクリートにより構成されており、欧化志向の表慶館と好対照をなしています。平成館は安井建築設計事務所の設計です。この中で最も新しい建物で、平成 11（1999）年に開館しました。

アクセス：山手線「上野」駅公園口より徒歩 10 分

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）、年末年始

ウェブサイト：<http://www.tnm.jp/>（東京国立博物館）

国立国会図書館 国際こども図書館

明治時代に国立国会図書館支部上野図書館として建てられたものを、再生し利用したのが、現在の国際こども図書館です。昭和 4（1929）年に修復・復元し、東京都の「歴史的建造物」に指定されました。

建築遺産を保存するため、一部分は補修のみ行われました。施設設計には、建築家安藤忠雄氏の参画を得ており、2 つのガラスボックスが既存の建物を貫くイメージで増築をしました。加えられたこのスペースでは、化粧レンガなど古い建物をじっくり観賞でき、子どもたちも自由に活用できる場所になっています。（写真転載元：国立国会図書館ホームページ）

アクセス：山手線「上野」駅公園口より徒歩 10 分

ウェブサイト：<http://www.kodomo.go.jp/>（国際こども図書館）

休館日：毎週月曜日、国民の祝日（5 月 5 日のこどもの日は開館）、年末年始、第 3 水曜日



参考文献：『死ぬまでに見たい洋館の最高傑作』 田中禎彦監修 エクスナレッジ 523.1 シ 本町図書館所蔵
『わくわく博物館（ミュージアム） 関東編』 人文社 069.0 ワ 本町図書館所蔵
『こんなに面白い東京国立博物館』 東京国立博物館監修 新潮社 069.6 コ 本町図書館所蔵
『安藤忠雄の美術館・博物館へ。』 マガジンハウス 526.7 ア 本町図書館所蔵

展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
建築<見どころ>博物館ガイドブック	浜島正士・監修	彰国社	2006	521 ケ
日本の城	中井均・監修	日本実業出版社	2010	521.8 ニ
わくわく城めぐり	萩原さちこ・著	山と溪谷社	2012	521.8 ハ
坂東三津五郎 粋な城めぐり	坂東三津五郎・著	角川マガジンス	2012	521.8 バ
死ぬまでに見たい洋館の最高傑作	田中禎彦・監修	エクスナレッジ	2012	523.1 シ
昭和初期の博物館建築	博物館建築研究会・編	東海大学出版会	2007	523.1 シ
ニッポンの名建築を旅する	藤森照信・著	交通新聞社	2014	523.1 フ
東京たてもの伝説	森まゆみ・著	岩波書店	2012	523.1 モ
洋館さんぽ EAST	インク・インコーポレーシ ョン・編	グラフィック社	2010	523.1 ヨ
安藤忠雄の美術館・博物館へ。		マガジンハウス	2011	526.7 ア
サライの「日本の庭」完全ガイド	田中昭三・編	小学館	2012	629.2 サ
江戸東京の庭園散歩	田中昭三・著	JTBパブリッシング グ	2010	629.2 タ
庭園さんぽ 日本の庭	インク・インコーポレーシ ョン・編	グラフィック社	2012	629.2 テ
明治・大正・昭和 西洋館&異人館	伊藤隆之・著	グラフィック社	2012	726.1 イ

「建築・庭園」について調べてみよう！

1. キーワードを使って調べよう

次のキーワードを参考に、「建築・庭園」について調べよう。

建築	建築美術	空間芸術	たてもの	築城	庭園
----	------	------	------	----	----

2. 基本的な情報源を使って調べよう

辞書・事典類を使って、テーマについての基本的な事柄を押さえよう。

書名	請求記号	所蔵館
日本大百科全書	031 ニ	本町・中央図書館所蔵あり
建築大辞典	520.3 ケ	本町・鷺宮・東中野図書館所蔵あり

3. 図書を探そう

図書館では、関連分野ごとに図書が並んでいる。[テーマの棚]を実際に見て、図書を探そう。

建築	520	美術	701.1	庭園	629
----	-----	----	-------	----	-----

[図書館のホームページやOPAC]を使って、図書を探そう。

【中野区内に図書があるか】

●中野区立図書館ホームページを使ってみよう。

→ <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

【東京都内に図書があるか】

●東京都立図書館のホームページを使ってみよう。

→ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

【国内に図書があるか】

●国立国会図書館のホームページを使ってみよう。

→ <http://www.ndl.go.jp/>



4. 雑誌・新聞記事を探そう

●中野区立図書館で所蔵している主な雑誌

タイトル	所蔵館
LIVES(ライフズ)	本町図書館所蔵あり
江戸東京たてもの園だより	(本町図書館なし)中央図書館所蔵あり

●中央図書館参考室の雑誌新聞記事索引データベースを使って調べよう

日経テレコン21	1975年からの日経4紙(経済・産業・金融・流通)の新聞全文や企業情報などが検索可能。
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞のほか、知恵蔵・AERAなどが検索可能。
MAGAZINE PLUS	雑誌記事や学術論文検索が可能。
WHO PLUS	歴史上の人物から存命中の人物について検索可能。
官報情報検索サービス	1947年5月3日から当日までの官報が検索可能。
D1-Law.com	判例などの法律情報が検索可能。

5. 関連機関を利用して調べよう

●一般社団法人 日本建築学会図書館 <http://www.aij.or.jp/tosyokan.html>

住所：東京都港区芝5-26-20 地階

電話番号：03-3456-2019



●国土交通省図書館 <http://www.mlit.go.jp/about/librarymain.html> (国土交通省ホームページ内)

住所：京都千代田区霞ヶ関2-1-2 (合同庁舎第2号館14階)

電話番号：03-5253-8332





本町図書館からのお知らせ

本町図書館個性づくり展示「るんるん、建築散歩♪」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。

☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00～11:30
第4水曜日 15:30～16:00
児童室にて開催中！
第4土曜日は乳幼児向けの
「おひざでだっこのおはなし会」

☆個性づくり展示☆

- | | |
|----------|------------|
| 第一回・岡本太郎 | 第十四回・工芸 |
| 第二回・落語 | 第十一回・歌謡曲 |
| 第三回・映画 | 第十二回・美術館 |
| 第四回・伝統工芸 | 第十三回・仏像 |
| 第五回・音楽 | 第十四回・茶道ほか |
| 第六回・デザイン | 第十五回・歌舞伎 |
| 第七回・浮世絵 | 第十六回・手紙 |
| 第八回・舞台 | 第十七回・表現する人 |
| 第九回・ジブリ | |

児童コーナー

子どもの読書の日

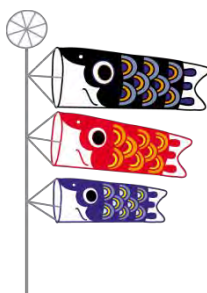
記念事業おはなし会

平成 26年 5 月 3 日(土)

第十四回～第十七回の
個性づくりの本は
展示してあります。

☆5月・6月の休館日のご案内☆

<5月>
12日の月曜日
30日(金)・館内整理日
<6月>
9日の月曜日
27日(金)・館内整理日



『本町ほのほのだより』
第19号は6月28日
発行予定です。

